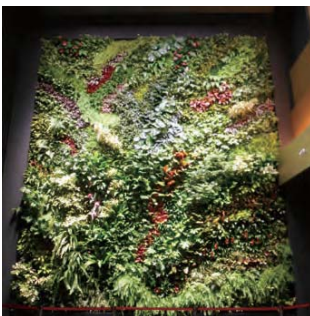


b.「遮蔽型」壁面緑化技術

K 株式会社
グリーンウインド
green-wind.net



軽量、簡易、拡張可能。様々な場所や用途に活用できる壁面緑化基盤スマートパネル。

ポット配列タイプのためデザイン性の高い配植ができ、植栽の交換がやりやすく管理がしやすい工法である。

L 日本土工株式会社
green.chiko.co.jp



マジカルグリーンシステムの構造は、植物にストレスを与えないホルダータイプ、内部点滴式ホースにより安定した水やりの実現、良質な軽量土壌を採用する事で目減りを抑え軽量化と経年での植生安定化が可能となった。

M 住友林業緑化株式会社
sumirin-sfl.co.jp
minminmura.com
共同提案者：株式会社みんみん村



コンクリート壁の型枠セパレーター部分を利用することで下地が不要となり、省施工（コストダウン）がはかれる。植栽の自由度が高く様々な植物を植えることが可能である。

また、両面に植栽が可能であり、簡単に緑化パーテーションが作成できる。

N イビデングリーンテック
株式会社
ibiden-greentec.co.jp



いこいの壁は植物の生育に必要な土壌量を有し、その永続性と共に多様な植物対応が可能な緑化パネルである。

規格は自由に製作が可能であり、現場毎の最適なデザインに対応した緑化空間を実現することができる。

O 株式会社 グリーバル
greeval.co.jp



植物毎の特性を活かし、様々な緑化景観を作ることができる。

低木や地被類に加え球根植物や宿根草を織り交ぜ四季の変化が感じられる壁面緑化を楽しむことができる。

植栽種やレイアウトでオリジナル性が表現できる。

P 西武造園株式会社
leafwall.seibu-la.co.jp



緑化基盤は保水性固化培土で、土を使用しないため軽量かつ50mmという薄さで両面緑化を可能にしている。

伝統意匠に倣った多摩産材の木枠と、江戸時代より親しまれている植物で彩りを表現している。

緑で都市を冷やします！

～暑さ対策に向けた緑化技術の公開テストを日比谷公園で実施～

国土交通省では、新しい緑化技術の開発・発信と暑熱対策を推進することを目的として、日比谷公園において壁面緑化技術の公開テストを実施しています。

調査成果については、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会における暑熱対策への活用も検討する予定です。

【公開テストの概要】

1. テスト内容

「壁面緑化技術」

※自立型の壁状の構造物に対して、壁面緑化を施す技術です。

①植物生育の安定性、②耐久性、③暑熱環境緩和

に関する性能等に関する調査を行っています。



a.「透過型」壁面緑化技術



b.「遮蔽型」壁面緑化技術

2. 実施期間

平成29年8月5日（土）から
平成29年9月24日（日）まで

3. 実施場所

日比谷公園 草地広場南側園路

公開テスト実施場所



■アクセス

- ・東京メトロ丸ノ内線・千代田線「霞ヶ関」、東京メトロ日比谷線・千代田線「日比谷」、都営地下鉄三田線「日比谷」下車（A10・A14）出口すぐ
- ・JR「有楽町」下車 徒歩8分

4. 参加企業

平成31～32年にかけて都内にて行う暑熱対策実証調査に向けて、平成29年6月に、実証調査パートナー募集（第1回）を行い、民間企業に対して、技術提案を求め、有識者委員会において審査を行いました。その結果、16名がパートナー選定に向けた公開テスト参加企業として選定されました。今回の公開テスト*を経て、実証調査パートナーを選定します。

※公開テストは、（公財）都市緑化機構が国土交通省の調査業務の一環として実施しております。

【公開テストに関する問い合わせ先】

公益財団法人都市緑化機構

担当者：今井・手代木・鳥越
電話：03-5216-7191 FAX：03-5216-7195
平日 9:15～18:00

公開テスト施設配置

a. 「透過型」壁面緑化技術 (登攀・下垂型壁面緑化 及び多段積層型壁面緑化) 参加企業 (6者)

ワイヤーやメッシュなど、または、多段積層型など、壁面の向こう側が見通せる緑化壁を創出する技術です。

透過性があるため、明かりを取り入れつつ緑に囲まれた空間を創出することができます。

遮熱的な環境の創出にも役立ちます。



壁面の向こう側を見通す必要がない場合等に活用する、壁の全面に緑化を行う技術です。

選択する植物の多様性が高いことなど特徴があります。

緑を用いた空間の演出の自由度が高く魅力的な空間づくりに役立ちます。

b. 「遮蔽型」壁面緑化技術 (基盤造成型壁面緑化) 参加企業 (10者)

B 東鉄工業株式会社



東鉄工業(株)の壁面緑化「トラスシステム」は人・植物に優しく景観をデザインする。

- ・多種な植物の植込み
- ・美しく堅牢な本体部
- ・自由なレイアウト
- ・建物の壁面温度降下
- ・地球に優しい景観を演出、好環境を創造する。

C 大綱株式会社



スイスに本社を置く、Jakob 社製 Webnet を提案する。

大規模空間を急速に緑化施工することが可能である。

意匠性に優れ、景観にも良く馴染む。

立体的な表現も可能であり、新しい緑化技術として提案する。

a. 「透過型」壁面緑化技術

A 小松精練株式会社



廃棄物を有効利用して開発した保水性多孔質セラミックスを緑化基盤として使用。

下記の特徴のある、ルーバー形状の壁面緑化である。

- ①光と空気が通り、軽やかな演出が可能
- ②優れた遮音性と冷却効果
- ③灌水量の節約

D 株式会社マップ



緑のカーテンを“超大型化”する栽培技術「マップ式®」。

わずか数カ月で高さ20m以上に育つ。

そのため環境用のみならず、校舎全体を覆う教育用、注目を集める観光用などにも活用されている。

E 鈴田峠農園有限公司



大きく育ったパッションフルーツをコンパクトな円筒状で輸送し設置する為、短時間で広い緑化が完成する栽培技術。

1本のパッションフルーツで幅10m長さ10mのシェード緑化も可能。

1年間に2回実がなり収穫も可能。

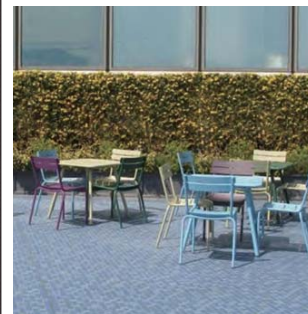
H 株式会社ホウスイ



緑化基材「製品名：どこでも緑化マップ」は高保水・薄型・軽量で現場加工(曲げ・切断)ができる為、施工範囲が広がる。

また、複合植栽(苔・芝・花・木等)が可能な為、和風・洋風等、多種多用の緑化を演出できる。

F 株式会社日比谷アメニス



本製品はツル性植物(カロライナジャスミン・テイカカズラ)をネットと一体で養生生産し、出荷する登はんネット一体型壁面緑化資材である。

施工の初期段階から密度と高さを持った登はん型壁面緑化が実現できる。

I 南出株式会社



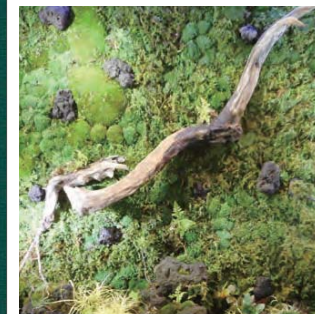
植物の生態にあったシステムの為、生育が旺盛で長持ちし、下草や花や低木が植栽可。

また、養生期間なしでポリウレタンのある植物が植えられる為、施工直後から景観性が良い。

枯れ率も少なくメンテナンスコストも安価。

b. 「遮蔽型」壁面緑化技術

G 株式会社モス山形



コケ植物は乾燥に強く土壌を必要としないことから、軽量でコンクリート面や鉄板等に簡単に取付けできる。

日当りに応じてコケの種類を選定すれば、日陰でも緑化が可能である。

コケは日本らしさを演出できる。

J 株式会社石勝エクステリア



石勝エクステリアの工法は水苔を培地とした連続基盤により植物の根が自由に張れ、多様なポット径をランダムに植付けることができる。

よって、配植の自由度が高く、緩やかな曲線等を用いた多彩なデザインに対応する。